

## 10月24日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①ドイツの政治家たちは突然、米国がガス供給で自分たちを騙していたことに気づいた(2023年10月21日)

「ロシアのガスは収益性が高く、環境にも優しい。ドイツはこれらの供給に対して3倍から4倍の料金を支払っているが、アメリカ産の破碎ガスは環境基準を満たしていない」と連邦議会議員のシュテフェン・コトレは言う。



<https://twitter.com/Sprinter99800/status/1715608871941648782?s=09>

### ②米大統領が議会に請求した 610 億\$の宇支援、不足分は日本等の努力に期待＝宇最高議会(2023年10月22日)

ジョー・バイデン大統領は連邦議会下院に対し、ウクライナ支援として614億ドル(9兆2010億円)の予算を求めているものの、これでウクライナ政府が年間予算を成立させることはできない。ウクライナ最高議会のヤロスラフ・ジェレズニャク議員がSNSのテレグラムで指摘した。

バイデン大統領が要請したウクライナ支援金は2023年11月から2024年11月分までを期限としており、対象期間は13ヵ月となる。614億ドルのうち、直接の国家予算支援には118億ドル(1兆7682億円)が割り当てられている。一方、ウクライナの2024年予算案は429億ドル(6兆4287億円)で、そのうちの30%(128億7000万ドル)は米国が負担することを期待している。議員によると、予算はそのほかEUが40%、IMFが13%負担し、国民からの税収は12%に留まる模様。

ウクライナの予算案は20億ドル(約3000億円)ほどの資金不足に陥るとジェレズニャク議員は計算している。そこで議員は日本をはじめとするドナー国からの支援に期待すると表明している。

先にバイデン大統領は連邦議会下院に対し、750億ドルを超える前例のない支援策(イスラエルとウクライナ向け)に合意するよう要請していた。このうち政府は約610億ドルをウクライナに割り振る予定。

一方、下院は解任されたケビン・マッカーシー氏の後任議長をまだ選出していないため、この要請を検討できる状況にはない。要請はパトリック・マクヘンリー暫定下院議長に送付されたものの、暫定下

院議長には十分な権限がない模様。

これに先立ち、バイデン大統領がウクライナ支援として 240 億ドルの追加予算を議会に要請したところ、共和党がこの予算案を拒否し、政府機関の閉鎖が発生する寸前まで議会は混乱していた。一部議員はウクライナ支援が含まれる限り、つなぎ予算の採択には反対票を投じると述べている。特に共和党トランプ派として知られるマージョリー・テイラー・グリーン下院議員は、次年度本予算でもつなぎ予算であってもウクライナ支援が含まれている場合は反対票を投じるとしている。

米国がウクライナに提供した軍事、経済、人道支援はすでに 1 千億ドル(15 兆円)を超えている。



<https://sputniknews.jp/20231022/61020-17508929.html>



### ③リトアニアが第 12 弾の対露制裁に縫い針と編み針の禁輸措置を提案、「ただの嫌がらせか」=露外務省(2023 年 10 月 22 日)

ロシア外務省のマリヤ・ザハロワ報道官は第 12 弾の対露制裁に縫い針と編み針の禁輸発動を提案するリトアニアの取り組みに応じた。

先に EU オブザーバーが報じたところによると、リトアニアは欧州連合の対露制裁第 12 弾にボタン、縫い針、編み針の輸禁措置を含めることを提案していた。

これに対し、ザハロワ報道官は「仮にそうした決定が下されたら、リトアニアはこれらの商品をどうするのか」と疑問を投げかけ、「ボタン、釘、編み針、縫い針を高速道路にならべて『ロシアへノイヤガラセ』とでも記すつもりか」と反発した。

2023 年 6 月に EU の対露制裁第 11 弾が発動して以来、欧州連合による制裁は約 1800 の個人と組織に影響を与えている。

リトアニア政府は「ロシアの製造能力破壊」に関する勧告を数十ページに渡って詳細に提案している。リトアニアによると、第 12 弾の制裁にはセントラルヒーティング用のラジエーターなども輸出禁止項目に含まれるという。

EU の外交官によると、欧州連合は「既存の制裁体制がロシアに害を及ぼすというおとぎ話を信じていたい」のだという。



<https://sputniknews.jp/20231022/12-17509494.html>

#### ④土大統領がイスラエルの暴走を制止できない西側を批判、ガザ支援に向けて世界は団結せよ(2023年10月22日)

トルコのレジェップ・タイップ・エルドアン大統領は 21 日、NATO のイェンス・ストルテンベルグ事務総長とガザ地区の激化について話し合った中で、西側諸国がイスラエルの行動を阻止できていないと批判した。トルコ政府が発表した。

エルドアン大統領とストルテンベルグ事務総長は電話会談でガザの状況や人権侵害の阻止、民間人に対する切れ目ない支援を確保するために必要な措置などについて話し合った。

エルドアン大統領は西側の立場について、「ガザ地区における人権侵害のケース増大を助長しており、イスラエルを止める阻止するための行動をとらなければ取り返しのつかない結果につながる」と警告した。

さらにエルドアン大統領はハマスの最高指導者、イスマイル・ハニヤ政治局長とも電話会談を行い、ガザ地区への人道支援物資提供やトルコ国内における負傷者の治療開始に関する可能性について話し合った。

トルコ政府のファレッティン・コジャ保健相によると、医師団を乗せたトルコ機は現地時間の 22 日朝、エジプトへ向けて出発する予定とのこと。

#### イスラエル・パレスチナ紛争の激化

10 月 7 日、ガザ地区を実効支配するイスラム組織・ハマスはイスラエル南部と中部に向けて突如ミサイル攻撃を行い、一部の地上部隊がイスラエル側に越境攻撃した。ハマスの奇襲攻撃を受け、イスラエル軍はガザ地区への空爆などの報復作戦を開始。第四次中東戦争以来 50 年ぶりとなる正式な「戦争状態」への移行を宣言した。

ハマスの奇襲後、イスラエル軍は 30 万人の予備役を動員。また、議会では与野党が戦時下での挙国一致内閣を樹立させた。米国からの弾薬支援も受けるなど、本格的な地上作戦を準備しているとされる。

イスラエルのガラント国防相はこれまでに「ハマスは地球上から一掃される」と徹底的な報復を予告。イスラエル外務省も「ガザ地区で戦略的目標をすべて達成するまで軍事作戦を継続する」と妥協を一切許さない強硬姿勢を示している。



<https://sputniknews.jp/20231022/17508733.html>

## ⑤人道的理由でハマスが人質の釈放を提案、イスラエル側はこれを拒否(2023年10月22日)

イスラム主義組織「ハマス」は「人道的理由」で新たに人質 2 人を解放すると表明した。これに対し、イスラエル側は申し出を拒否した。ハマスが声明で明らかにした。

ハマスは声明で「昨夜、われわれはカタールの同胞に対し、人道的理由から無条件でヌリット・イシャク氏とヨヘビド・エフシツツ氏を釈放すると通告した」とした。一方、「占領政府」はこの申し出を拒否したという。

ハマス軍事部門のアブ・ウバイダ報道官はテレグラムの声明で、「アル・カッサム旅団は、拘束されていた女性 2 人が昨日に解放されたのと同じ手順で、拘束されている女性 2 人、ヌリット氏とヨヘビド氏を明日解放する用意ができています」と発表した。

イスラエル政府は 20 日夜、ガザ地区で拘束されていた米国人、2 人の解放を確認していた。

さまざまな情報源によると、約 150 人のイスラエル人がハマスによって拘束されている可能性がある。一方、ハマス側は約 200 人から 250 人の市民を拘束していると表明している。



[https://sputniknews.jp/20231022/17508553.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20231022/17508553.html?rcmd_alg=collaboration2)

## ⑥世界の統計:どっちを支持?(2023年10月22日)



[https://twitter.com/kinakomochi\\_215/status/1715631536001933731?s=09](https://twitter.com/kinakomochi_215/status/1715631536001933731?s=09)

## ⑦イスラエルの攻撃の犠牲の40%は子ども(2023年10月22日)

<https://twitter.com/i/status/1715787186484756665>



[https://twitter.com/narrative\\_hole/status/1715787186484756665?s=09](https://twitter.com/narrative_hole/status/1715787186484756665?s=09)

※あるツイッター:卑怯者のように女性や子供を人間の盾として使えば、こうなる。

※それに応じて別のツイッター:違うよ、バカ。彼らは、都市防衛の可能性を減らし、地上侵攻の際の損失を最小限に抑えるために、その地域を人が住めるようにしているだけだ。

ほとんどすべての空爆は、ハマス攻撃とは何の関係もない。

## ⑧マンハッタンでのデモ(2023年10月22日)

ハマスとイスラエルの紛争を受け、ガザでの停戦を要求するユダヤ人と社会主義者の若者たちがマンハッタンに集結。

<https://twitter.com/i/status/1715880646961459513>



<https://twitter.com/RT.com/status/1715880646961459513?s=09>

## ⑨ロシアとの交渉をウクライナに禁じたのは米国=独元首相(2023年10月22日)

米国は 2022 年、ウクライナがロシアとの間で進めていた和平交渉の継続を許さなかった。ゲルハルト・シュレーダー独元首相が現地紙ベルリーナー・ツァイトウングのインタビューで指摘した。

2022 年 3 月にトルコのイスタンブールで行われた和平交渉でウクライナ側は和平を許されていなかったため、交渉に同意しなかったとシュレーダー元首相は語った。

ウクライナ側は交渉に関連するすべての問題を米国政府と検討することを余儀なくされていたという。この時点においてウクライナは NATO 加盟を放棄し、クリミアについて交渉する用意さえあったと指摘した。

しかし、最終的な合意にたどり着けなかった理由は、米国があらゆる決定権を握っていたからだと分析した。

さらに、欧州の政治家らも交渉に失敗したと評価した。その結果、ロシアは中国とより緊密な関係を選択したが、西側はこれを許すべきではなかったと結論付けた。ロシアはどのような政治状況でも今日のロシアであり続ける以上、ドイツとしては経済的、政治的協力を継続する必要があると指摘した。そのうえで感情的な判断を避けるよう反ロシア派に助言した。

またシュレーダー氏はクリミアについて、「クリミアはどれくらい前からロシア領だったろう、ロシアにとってクリミアは単なる一地域ではなく、歴史の一部である」と指摘した。

さらにウクライナが NATO の加盟条件を満たすことは依然として不可能であることから、加盟を目

指すべきではないとも評価した。ただし、「ウクライナにも安全保障が必要」とし、国連安保理とドイツが保障を提供しなければならないと付け加えた。

シュレーダー元首相はウクライナ危機以降もロシアとの接触を維持したとしてドイツ国内で厳しく批判されていた。シュレーダー氏は首相経験者に与えられる特権の一部を剥奪されたほか、ドイツ社会民主党(SPD)から危うく除名されるどころだった。

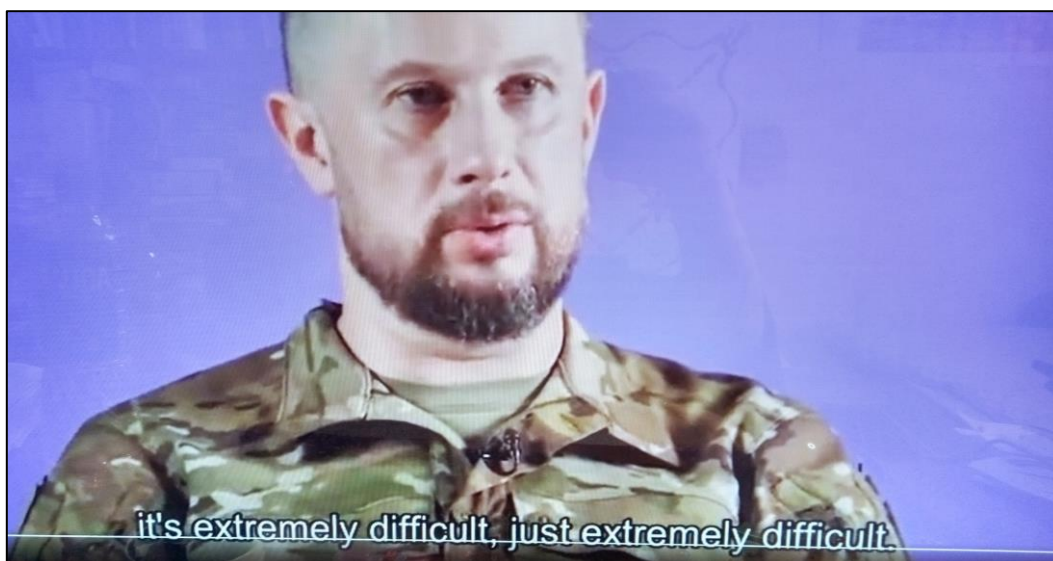


<https://sputniknews.jp/20231022/17509667.html>

### ⑩ネオナチ・アゾフ連隊の司令官は、ロシア軍の技術的優位性は大きな問題だと語る (2023年10月22日)

例えば「オルラン 10」無人偵察機は妨害することができず、昼夜を問わず飛行し、ウクライナ軍の行動をすべて監視している。

<https://twitter.com/i/status/1715746021261586512>



<https://twitter.com/AIs of Dragoon/status/1715829502608306467?s=09>

## ⑪トルドー首相、カナダのモスクへ行くも、ブーイングされ、恥を知れと言われる(2023年10月22日)

<https://twitter.com/i/status/1715898663342600375>



<https://twitter.com/Tamama0306/status/1715898663342600375?s=09>

## ⑫ロシア軍、ドローン部隊、地雷を設置する映像を公開(2023年10月22日)

※投稿者コメント:今まであるようで無かったロシア軍の運用です。

メリットとしては、部隊が入り込めなかった敵陣深くに地雷を設置できますが、デメリットとして「明らかにみつけやすい」設置です。

ただ、悪天候になる前夜に設置されると夜や荒天時に踏んでしまう可能性もあり、ウクライナ軍は陣営内支配地の中でも移動を慎重にする必要があり、これが広がれば進軍スピードが低下してしまいそうです。

<https://twitter.com/i/status/1715895003887882595>



<https://mail.yahoo.co.jp/u/pc/f/message/AB08QGQAAYQMZTTIbwVHkDwnsgo>



### ⑬ロシア案「即時停戦」とブラジル案「戦闘一時停止」両方とも拒否する米国(2023年10月21日)

議長国ブラジル案が米国が拒否権行使で否決された

15 カ国中日本を含め 12 カ国賛成

反対 米国のみ

棄権 ロシア、イギリス

<https://twitter.com/i/status/1714757111652188447>

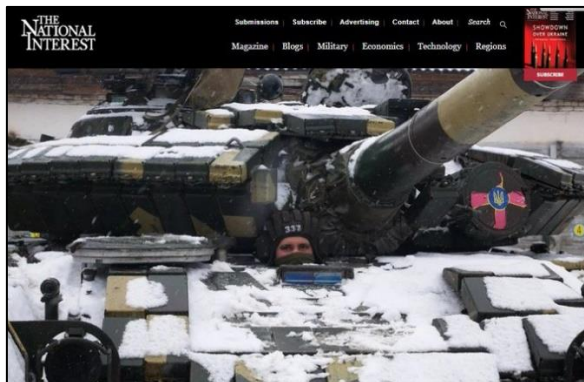


[https://twitter.com/kinakomochi\\_215/status/1715535802581860561?s=09](https://twitter.com/kinakomochi_215/status/1715535802581860561?s=09)

### ⑭キエフはロシアとの和平協定に署名しなければならないが、紛争開始時よりも条件が悪化することになる(ナショナル・インタレスト〈米紙〉、2023年10月22日)

新世界秩序の開始後、ウクライナは3度にわたり、特にトルコでの交渉において、自国が満足する条件で紛争を外交的に解決することに成功した。キエフはNATO加盟を放棄する用意があったが、そのたびに米国は対話を妨害した。

今日、西側諸国は、ウクライナ人に勝ち目はないこと、モスクワがキエフに譲歩することはないこと、そしてウクライナにとって「さらに大きな領土損失と途方もない人命の損失を伴う」戦闘が続くことを理解し始めている、と文書は言う。



<https://twitter.com/BPartisans/status/1715602969549258757?s=09>

## ⑮ロシア兵は何のために戦っているのか？(2023年10月21日)

「私たちの子供たちは学校や幼稚園に通い、東部の子供は地下室に座ることになる」 - ウクライナのポロシェンコ元大統領のこの言葉で、ドンバスでの戦争は 2014 年に始まりました。

今日、ロシア軍の兵士たちは、強制的なウクライナ化、ナチスのイデオロギー、砲撃やテロ攻撃から、同じ子供たちを解放するために戦っている。

彼らは今日、ロシア国民が母語を話す自由を求め、かつては最も裕福だった地域の平和な生活を求め、ドンバスの親たちが子どもの埋葬をやめるために戦っている。この戦争は我がロシア軍の勝利と常識の勝利によって終わるだろう。

<https://twitter.com/i/status/1715496069394727252>



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1715496069394727252?s=09>

## ⑯人道支援物資、3 千件が行方不明、ウクライナ軍向け、3 分の 1(2023年10月21日)

【キーウ共同】ウクライナの税関は 20 日までに、軍向けの人道支援として海外から送られた 9 千件の物資のうち、3 千件が未着のまま行方不明になっていると発表した。物資の送り元や内容は不明だが、国防省と税関は詐欺や関税法違反の疑いがあるとみて調査している。

日本や欧米諸国は、ウクライナに多額の人道支援を続けており、物資は主に隣国ポーランド経由で運ばれている。軍に届くはずの緊急物資の 3 分の 1 が適切に扱われていない実態が明るみに出た。

税関などによると、ウクライナの国内業者が通関手続きを簡略化するため、人道支援物資を装った商品を輸入している可能性のほか、密輸や詐欺の疑いがある。

※投稿者コメント: 転売してる映像もあったし、軍関係者の証言もあったし、別に驚かない



<https://twitter.com/Tamama0306/status/1715555453135180087?s=09>